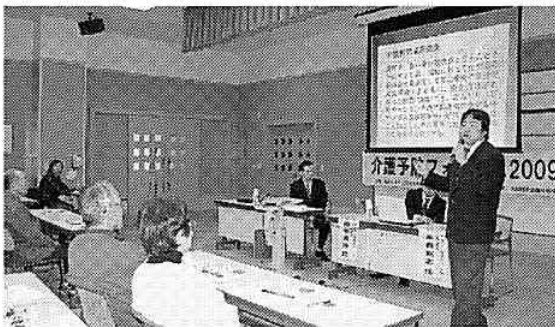


介護予防の大切さ学ぶ

夕張の医師招きフォーラム

当別



介護予防の重要性について講演する永森医師(右)

【当別】町内のNPO法人「当別町青少年活動センター・ゆうゆう福祉センター」ゆとろ

で開き、介護関係者ら約六十人が参加した。フォーラムではまず、介護老人保健施設「夕張」施設長の永森克志医師が「介護予防のまちづくり」と題し講演した。

永森医師は夕張市の医療法人財団「夕張希望の杜」の理事で、同財団の設立者の村上智彦医師とともに地域医療の再生に取り組んできた。講演では、高齢者が医療に頼りすぎると、医療費も要介護者も増えると指摘。「地域住民同士が連携して、運動や予防接種の重要性を啓発することで、医療費も軽減し高齢者の生活の質も上がる」と強調した。

この後講演した夕張市立診療所の歯科医師八田政浩さんは「歯の健康状態が悪いと体のバランスも悪くなり、転倒しやすい。介護予防には、定期健診など歯科との連携も不可欠」と訴えた。

(宮川綾子通信員)